

# 士会大島支部創立50周年記念式典

## 節目の年を盛大に祝う

県建築士会大島支部(栄博昭支部長)の創立50周年記念式典が18日、名瀬市の奄美サンプラザホテルであり、約120人の関係者が出席して盛大に祝った。

同支部は奄美復帰後間もない昭和30年に県下初の支部として創立、以来社会基盤整備や奉仕活動など多方面で地域への社会的役割を果たしてきた。栄支部長は挨拶で「戦後統治下の苦難の時代を思うにつけ50年という長い年月に感慨もひとしお。先輩諸氏が積み上げてきた歴史を財産として、これからも住民の安心安全を守ることに誇りをもちグローバルな時代の発展に貢献していきなさい」と今後の活躍を誓った。

来賓祝辞では県建築士会の守真和弘会長が「大島支部は地理的なハンディを抱えながら旺盛な探究心と強い結束力で地元の発展に貢献してきた。行政協力ももとより数多くの特色ある活動は各支部の模範となっている。その高い専門能力をフルに活かし環境問題やまちづくりと共に積極的に取り組んでいきたい」と話し、上園淳大島支庁長と平田隆義名瀬市長もそれぞれの立場から祝辞を述べた。



同支部の発展に貢献した支部長経験者と歴代会員功労者の表彰に続き開いた祝賀会では新旧会員持ちグローバルな時代に対応していきなさい」と今後の活躍を誓った。

来賓祝辞では県建築士会の守真和弘会長が「大島支部は地理的なハンディを抱えながら旺盛な探究心と強い結束力で地元の発展に貢献してきた。行政協力ももとより数多くの特色ある活動は各支部の模範となっている。その高い専門能力をフルに活かし環境問題やまちづくりと共に積極的に取り組んでいきたい」と話し、上園淳大島支庁長と平田隆義名瀬市長もそれぞれの立場から祝辞を述べた。

### 鹿屋土木協同組合総会

## 技術研さんや情報交換

鹿屋土木協同組合(松元孝夫理事長・19社)は17日、鹿屋市の大黒グラウンドホテルで第36期通常総会を開いた。会員相互扶助の精神で技術の研



究や情報交換等を柱とし、17年度事業計画を決めた。任期満了に伴う役員改選は松元理事長はじめ

総会後の懇親会で挨拶する松元理事長(左)と鹿屋市の大黒グラウンドホテルで

ら若苦勞話や思い出話に花を咲かせていた。

会場には支部作品展示のほか過去50年の工事写真帳・建築士試験合格祝賀会・桜植栽等の写真が陳列され、出席者らは懐

かしそうに往時を振り返っていた。また記念事業として半世紀の歩みをまとめた創立50周年記念誌も発行された。

表彰者は次の通り。

支部長経験者 久保武

- 秀 吉原重喜▽歴代会員
- 功労者 阿野益雄 有田
- 豊吉 安藤正光 碓山昭
- 三 系昭一 芝田平次
- 大沢照雄 川田幸一 高
- 岡清 藤山光通 松元敏
- 松浦源吉 吉精孝

### 県コンクリート製品協組総会

## 新理事長に松崎氏



松崎秀雄新理事長

併い、新理事長に松崎秀雄氏(インフニテック(株)、新副理事長に本田義道氏(日新コンクリート工業(株))を選出した。

総会では、初めに松崎理事長が30年間の組合を歴史を述べ、「長い間、ありがとつていまして」と挨拶。引き続き、議長に熊谷慶喜氏(北南コンクリート(株))を選出し、議事に入り、17年度事業計画・収支予算案など8議

県コンクリート製品協同組合(松崎正年理事長)は20日、鹿児島市の城山観光ホテルで第30回通常総会を開き、共販製品の受注拡大などを柱とする17年度事業計画を決めた。



決したほか、理事補充では、有村義伸氏(株)田島コンクリート工業)を選出した。最後に松崎新理事長は「厳しいがゆえに改革の時期と考えている。しっかりと勉強し、諸活動に取り組んで、組合運営を図っていきなさい」と決意を述べた。

17年度事業計画は、①共販製品のPR強化と受注拡大②共販製品外製品の共販化、適正価格への引き上げ③さらなる品質向上と品質管理の徹底④業界の再編成と集約化の促進

### 知覧建設同志会総会

## 必要とされる建設業に

知覧建設同志会(松田良三会長)は17日、知覧町の味処たけ正で17年度通常総会を開き、新年度事業計画を決めたほか、任期満了に伴う役員改選では、松田会長の続投を決めた。

冒頭、松田会長が「公共事業予算の縮減は、受注機会及び受注単価の減少を招き、地方建設業にとっては大きな痛手となっている。そのためには、技能の向上を図り、地域と一体となったボランティア活動などを重ねること、地元住民に必要とされる建設業となるよう、これからも一致団結して取り組んでいこう」と挨拶。

続いて、定款に基づいて松田会長を議長に選出して議事に入り、16年度事業経過並びに収支決算報告、17年度収支予算案並びに事業計画案を審議し、執行部原案通り可決

17年度賦課金及び徴収方法、17年度事業計画案として、市町村合併をふ

### 建設会館周辺の清掃も

## 大口建設業協同組合青年部

大口建設業協同組合青年部(瓜生島修会長)は18日、大口市のプラッセ大入口店で、恒例の集団献血を実施し、60人が受け付け、うち約40人が採血に心じた。

午前9時30分、同店駐車場に集合した会員を前に、大口市健康推進課の清水秀明係長が「建設業の方々毎年集団献血にご協力くださることは大変有意義な活動であり、ありがた」と挨拶した後、早速会員らは来店者



献血を前に記念写真に納まる

ランティアに積極参加することなど執行部原案通り承認した。

「暑い時期はどうしても血液不足になり、毎年多くの方々血液を提供してくださるのは大変助かります」と笑顔を見せていた。

また当日会員は集団献血に先駆けて、午前8時から大口建設会館周辺の草払いなど清掃作業も実施し、地域住民に喜ばれた。

開始式をする今屋副支部長(薩摩川内市のガラッパポウル)で

ウリング大会を開催。140人が熱戦を繰り広げ団体では(上三垣組・(株)松元産業チーム、個人は森山平さん(株)誠建設)が優勝した。

今屋純一副支部長は「皆が熱いときこそチームワークで乗り切らなければ。ポウリングで親睦を深め、一緒に汗を流すのが最高ですよ」と話した。今屋副支部長は、外園達副支部長、松田博正専務理事らと同じレオン。果たして成績は？残念ながら3位までにとどらも名前はなかった。



団体準優勝は(南)吉川建設チーム、3位が(南)有川建設チーム。個人準優勝は前田広幸さん(南)吉川建設)、3位が(上)三垣洋さん(南)上三垣組)。

### 県建設業協会川内支部

## 上三垣組・松元産業が優勝

県建設業協会川内支部(田代勝夫支部長)は17日、薩摩川内市のガラッパポウルで

お手軽で便利な  
購読料のお支払いは  
**自動振替で**

鹿児島建設新聞  
099-227-5100へ